

【巻末資料】

「コントDE健康」講座ポスターの例

**南砺市  
東太美福寿大学**

15周年記念講座（第172回）

**コントDE健康**

平成23年8月6日（土）午前10時30分  
場所：南砺市東太美公民館  
主催：南砺市教育委員会 生涯学習スポーツ課

「新・認知症の介護」の巻  
「指と頭の体操」  
「クイズ！この曲なーに？」  
「くすりと健康」の巻

演目は、都合により変更になる場合があります。



『コントDE健康ボランティアグループ』代表：山口裕幸

講座写真



(コント風景)



(コント後の薬剤師の説明)



(筆者によるバイオリン演奏)

「コント DE 健康」台本の例

逸脱的行動に関連する笑いが起きる部分・・・下線

死や重い病に関連する笑いが起きる部分・・・二重線

演じ手と聞き手の相互のやりとり・・・波線

『元気ですか？あなたの胃？』の巻より

登場人物

父（友蔵）：最近胃の調子が悪いが、ここ数年検診の案内を無視している

母（はるこ）：友蔵の体調をいつも心配している

息子（ひろし）：テレビを見て父に検診を促している

（母と息子が居間におり、そこへ父が帰ってくる）

父「おかあさん、ただいま」

母「あら、お父さん、消防おかえり」

父「今日も朝からホース持ってホントにしんどかったわ」

母「なんやちょっこ顔赤いぜ」

父「おうちょっと内緒やけど飲んできたがいぜ」

（中略）

母「あらー、お昼ごはん何にしようか」

父「それがねー、いらんがいちゃ」

母「いらん！？どうしたか？」

父「なんかね、胃の調子が悪くてねー、なんかチクチクするが」

母「あらー、お父さん、今までご飯いらん言うたことなんかないがに」

父「それお前やないか」

客（笑）

母「心配やわー。ねえどうしたか？そんながならあんだ、たばこやめりゃどうや？」

父「たばこやめる？やめれりゃやめとっちゃよ」

母「今まで何十ぺんやめるゆうたが。うちも新築したばかりやろ？」

父「見てみ、みんなきれいやろ」

息子「周りに迷惑やもんね。家は汚れるし、僕とお母さんもねえ、一緒に吸わされてけむたいけむたい。僕らがんになるないけ」

父「がん！？」

母「男ならあんだ、これやめられま！」（たばこで頭を叩く）

父「いたっ！」

客（笑）

父「どこのうちも母ちゃんキツツイなあ…男ならやめえ！？」

母「うん！」

父「なら、男やめてお母さんになるわ今から！」

息子「おかあさーん！」(父に駆け寄る)

客(笑)

母「あんたらちだらけ！」

父「ちょっとだらなところあるけども」

母「ちょっとどうなつとが、あら、お父さん、あんたそれもしかしてあんた、がんでないがけ!？」

父「がん!？お前簡単にがん言うなよー」

母「あー、胃がんやわ!あー、どうしよう」

父「そんながんが言うたらほんまにがんやと思うわ」

母「ひろし(息子)、お父さん死んだらお母さんどうしようか、再婚できるかね?」(泣)

客(笑)

息子「今のうちに探しとかんな、お母さん」

母「ホンマやわ、後のこと考えとかんなん」

父「お前、そういうとこ心配せんといかんがが」

母「そうやわいねあんた、わたしの人生かかっとるがいぜ」

父「大丈夫大丈夫、ちゃんと検診行ったから、5年前に」

息子「5年前!？」

客(笑)

父「行った行った、5年前」

息子「そんなときどうやった？」

父「どうやったか!？そんなもんいちいち覚えとらんわ。覚えとったらそんなおまえ、覚えとったらおまえ、いいわいねほんまに」

母「あんときほら、あの一、なんとか胃炎いうて言われたがいね。なんとか、なに胃炎やったかいの」

息子「いナントカ胃炎…」

母「そう、いナントカ胃炎いうて言われた」

父「萎縮もあつたような…」

母「そうそう、萎縮性胃炎やらいうて言われた」

父「ああ、はいはいはいはいはいはいはいはいはい。さて、何回はい言ったでしょう？」

客(笑)

息子「でも5年前ってどうながけ、毎年行かんなんがじゃないがけ？」

父「まさか」

息子「菅首相はそんなこと言わんけどー」

父「総理大臣言うたらんやろお前」

客(笑)

息子「どの大臣も言わんけど」

父「お父さん何回行つとる？毎年行つとる？」(客に尋ねる)

客「毎年…」

父「おーえらいえらい」

息子「ほらー、毎年」

母「みんな胃の検診受けとんがけ！?」

客(うなづく)

母「あらー…」

父「いつも〇〇先生(南砺市民病院の医師)に怒られとる人手挙げて!!」

客(笑)

母「あらー、でもあんた…」

父「5年でいいもんやちゃ」

母「がんや言われたら弱るさかいね、やっぱそんで5年でいっちゃ」

息子「だらやちゃー早く分かれば、早く治せるがよ」

母「ねえねえひろし、テレビで何やら、胃の話やとんがいぜ」

息子「ほら、ピロリ菌と胃の話いうて」

父「なにけペロリて？」

母「ん？ペロリ？なんか、きのこ？」

父「お母さん、食べることばっかしやな」

母「だって菌言うたらきのこじゃないがけ？」

父「お母さん、さすが管理栄養士さんやな」

母「きのこじゃないが？」

息子「違う違う、ピロリ菌ちゃ、胃に住みついて…胃に住みつくばい菌なが。よく分からんけどりあえず胃潰瘍とか、胃がんの原因になるらしいよ」

父「ちよつとここで聞いてみりゃいいないけ。ピロリ菌って知つとる人!」(数人手を挙げる)

父「みんな知つとるなあ、勉強しとるなあ。適当な事言われんな」

客(笑)

息子「みんなね、お腹の中に住んどるが、ばい菌ながやと」

母「胃の中にそんなばい菌おんがや」

息子「一回胃の検査してもらおうよ」

父「嫌やなあ。だいたいな、胃カメラ言うたらこーやってああでもないこうでもない言うて。でもかわいらしい看護婦さんおるがなら行ってもいいけどな」

息子「いこいこ」

母「やっぱ、私の将来のためにあんたいっぺん検査受けに行つてま」

父「そうかお母さんのために長生きするかな」(父と母抱き合う)

父「ということで、病院に来たことにしようぜ」

客（笑）

母「じゃあ、行きましょう」

（場面設定が病院になり、医師役登場）

医「友蔵さん（父）！」

母「あ、先生どうもよろしくお願ひいたします」

医「先ほどの胃のカメラの検査、結果が出ました。5年ぶりの検査で」

父「そうそう、国勢調査と一緒に！」

客（笑）

（中略）

医師「（胃の）食べ物がたまりやすい所に、胃がんが見つかりました」

父・母・息子「えっ!？」

母「ホントにがんが!? あらー、そうけ…」（立ち上がり、歩き出す）

父「お母さんお母さん! どこ行こうおもとんが!? 今説明きいとんがにお母さんどこ行くが!？」

母「あら、あんたの生命保険、がん保険入ったか…」

父「なにー!!」

客（笑）

母「お母さん確かめてこんな!」

父「そこが心配かよ!」

息子「先生先生、一番最初にまず聞きたいんですけど、今から入れる生命保険ってどれが…」

父（こける）

客（笑）

医「正しい話を聞いてからそこへ行ってください」

父「嫌な家族やー」

（医師の説明が始まる。医師は、がんびを使い、検診の大切さを伝える）

『正しい薬の飲み方使い方』の巻

登場人物

はる：おばあちゃん

あき：はるの隣に住むおばあちゃん

嫁：はるの家の嫁

（あきがはるの家を訪れる。居間での会話）

あき「はるちゃーん、はるちゃんおるー? ちょっとあんた入らしてもらうちゃー」

はる「あらー、あきちゃん！」

あき「あんたどうやいね、こないだから風邪ひいて鼻ぐしゅぐしゅやったけど、ちょっと熱下がったし、長いことあんたの顔見とらんし、あいそんな一なつて来たがいぜ」

はる「そうながいとね、あんた風邪ひいておいでたやらいうて、ひどいやらいうて、やがて死なっしやるないがないかおもて…」

客(笑)

はる「私ね、香典まで準備しとつたがいぜ」

客(笑)

(中略)

はる「あんた、ちょっとお茶飲もまいけ」

あき「あー、お茶くたはれま」

客(笑)

はる「お母さーん、ちょっとねー、となりのお婆あさんおいでだからちょっとお茶でもくたはれんかねー」

嫁「はいはい、今持っていきまっそ」(つまずき、お茶をこぼす)

客(笑)

嫁「あらー、えらいことになった。あ、となりのあきお婆あさんようおいでまして。お元気でしたかいね?」

あき「あー、香典もらわんでよかったちゃ」

客(笑)

(中略)

あき「おらに茶くれるより畳に飲ます方が大事やと」

客(笑)

(中略)

はる「あー、頭もの一なつてきた。私、朝薬飲んだかな血圧の薬。あ、でもどうもない。でも忘れたな。あ、どうもない時ね、半分飲みゃあいいがやわ。」

あき「そうそう」

はる「お母さん、ちょっと、血圧の薬飲まんなんからちょっとジュース持ってきてま」

客(笑)

嫁「お母さん、薬飲まっしやるがやろ、ジュースでちゃ飲まれんがいぜ。水かお湯やちゃ。水持ってきましたさかい、これで飲んでくだはれませ」

はる「ジュースくれんと、水やといね」

(中略)

はる「何で飲んだって一緒ながにねえ」

あき「そうやちゃ」

はる「こんなカプセルの薬も苦いからー、飲めれんからこうしてね、開けて飲まんなんが」

あき「そうやちゃー」

はる「腹ん中入りゃー緒やちゃねえ」

あき「そうや」

客(笑)

あき「あんた、鼻ぐしゅぐしゅとかしとらんがいろ？」

はる「しとるが。なんやらねえ、今朝から。鼻ぐしゅぐしゅするもの目しよぼしよぼするもの、ちょっこ風邪ひいたんないかなーおもて、こないだまでほら、死にそうな風邪薬ちょっこ分けてま」

あき「あー、あるある」

客(笑)

(中略)

あき「ほしたら風邪薬あげっけどお」

はる「うん、これ分けてえ」

嫁「おばあちゃんたち、ちょっこ待ってくだはれま。薬誰にでもあげたらあかんがやぜ」

はる「そんなことないちゃ仲良くせんなんねえ」

客(笑)

嫁「お母さん、おじいちゃんにそうやって薬あげはったらあんた、おじいちゃん大変な目にあわはったないけ。おしっこ出んようになってひどい目に」

はる「そうやったねえ、じいちゃんに風邪薬飲ましたらションベン出んようになって、ほったらね、おむつ減らんでよかったわー」

客(笑)

はる「助かったわ」(お金のジェスチャーしながら)

あき「じいちゃん災難やったけど、あんた、よかったないけ」

はる「そうやわ、やっぱじいちゃんよりおむつ代の方が大事やちゃ」

客(笑)

(中略)

あき「薬なんかあんた、みんなで分け合うて使わんな」

はる「そうやよー」

客(笑)

あき「おらなんて、ちっちゃい孫に、こないだ熱でたさかい、おらの尻から入れとる薬、孫ちっちゃいさかいおらもちよっと考えて、これこうやって半分に切って、尻から入れてやったらまたケローっとして」

はる「みんな仲良くして使わんなねえ」

あき「学校行つとる子は何やらゲームやらピコピコピコピコこんなことばっかしとって、ばあちゃん目しよぼしよぼや一言うがやさかい、それでも、おら目薬のこさでっかいが持つとがいちゃ。だから、ならばあちゃんどれやら目あかる一なるさかい、さしてあげっち



や言うてさしてやったら、ばあちゃん、あかる一なってぴかぴかの目なったわ言うて喜んで  
どったわ。まーたこんなこと（ゲームなど）ばっかしとったちゃ」

はる「しよぼしよぼながとなーん一緒なもんちゃ、薬ちゃ。どうもないどうもない。」

客（笑）

嫁「もう聞いとられんよー」

あき「こないだから何やら、また、整形やったか内科やったか忘れたれど、こんなあんた  
ちっちゃい薬くれはって、どこにでも貼らっしゃい言わっしゃるがいちゃ」

はる「あんたなんちゅちっちゃい湿布もろたね。けちくさい病院やねー私こんなでかい湿  
布やわ。あんた、南砺市民病院行かっしゃい、こんなでかいがあたるよー。そんなちっ  
ちやいが効くがけ」

客（笑）

あき「おらも南砺市民病院やったれど、あんたそれどこやったろかいね」

はる「知らんちゃ。どこでも貼れ言わっしゃるもんに」

あき「ならくれっしゃいあんた、こんなちっちゃいが」

はる「あげっちゃ、ちょっこあげっちゃ」（はるとあきが薬を分け合う）

客（笑）

（中略）

嫁「あの一こんながやとったって…先生！薬剤師の先生！」

（本物の薬剤師登場）

薬「もう終わらんもん」

客（笑）

嫁「正しい話ちょっこ聞かせてくれたはれま」

はる「みんななんせ仲良くしてかなねえ」

客（笑）

あき「おら風邪治ったさかい、あげるが。そんなもん捨てたりしたらもったいないねえ」

（中略）

薬「ところでみなさん、薬を飲んでおられる人！」（手を挙げさせる）

（薬剤師の説明が始まる。薬剤師は薬を飲むときの注意点についてがんびを使って説明する）

【参考文献・URL】

- ・磯邊厚子, 2010, 「地域包括支援センター実習の意義と看護の役割の可能性」『京都市立看護短期大学紀要』: 33-41
- ・桂敏樹他, 2007, 「臨床活動報告 商店街を拠点としたポピュレーション・ストラテジーによる健康増進活動—介護予防、メタボリックシンドローム予防等を目的とした商店連盟や住民自治会との連携による出前“すこやか健康講座”—」『京都大学医学部保健学科紀要』: 55-58
- ・全国自治体病院協議会, 2009, 『「笑い」と「健康」を地域住民に—「コント DE 健康」ボランティアグループの活動—』『全国自治体病院協議会雑誌』48(2): 108-114
- ・中川輝彦, 黒田浩一郎, 2010, 『よくわかる医療社会学』ミネルヴァ書房: 76-83
- ・林田来介, 2003, 「500回を超す健康講座—協会における健康講座とは—」『月刊保団連』: 18-21
- ・森下伸也, 2003, 『もっと笑うためのユーモア学入門』新曜社
- ・油井博一, 2010, 「佐久病院の概況と再構築計画について」『いのちとくらし研究所報』: 24-34
- ・若月俊一, 2010, 『予防は治療にまさる』旬報社
- ・Berger, Peter. L, 1997, Redeeming Laughter: The Comic Dimension of Human Experience: Walter de Gruyter (=森下伸也訳, 1999, 『癒しとしての笑い—ピーター・バーガーのユーモア論』新曜社)
- ・「南砺市立医療機関の紹介」パンフレット (南砺市発行)
- ・南砺市民病院, 2012, 「南砺市民病院ホームページ」  
(<http://shiminhp.city.nanto.toyama.jp/www/index.jsp>)
- ・西宮市, 2012, 「西宮市ホームページ」(<http://www.nishi.or.jp/index.html>)
- ・八戸市, 2012, 「八戸市ホームページ」  
(<http://www.city.hachinohe.aomori.jp/index.cfm/1.html>)
- ・Youtube - Broadcast Yourself 「糖尿病をほうっておくと」の巻 (1/2)  
(<http://www.youtube.com/watch?v=dEeFr5TRV9w>)